

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配 置 困 難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
経営学部	経営学科	夜・通信		50	104	13	-		
福祉健康学部	福祉学科	夜・通信	54	157	211	13	-		
	こども学科	夜・通信		103	157	13	-		
	健康スポーツ学科	夜・通信		89	143	13	-		
	看護学科	夜・通信		31	122	153	13	-	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

(公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/>)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

福山平成大学ホームページ（学校法人福山大学の情報公開：https://www.fukuyama-u.ac.jp/Information_disclosure/）

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	(公財)振興財団 理事長	2020.5.27 ～ 2022.5.26	経営・財務・教育 連携
非常勤	弁護士	2020.5.27 ～ 2022.5.26	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

授業計画(シラバス)には、「授業のねらい・概要」、「授業(学修)の到達目標・カリキュラム上の位置づけ」、「準備学修の具体的な指示」、「回数ごとの授業内容」、「回数ごとの準備学修等の具体的な指示」、「準備学修に要する時間の目安」、「定期試験」、「成績評価の方法・基準・課題・フィードバック」、「オフィスアワー」、「授業に関するキーワード」、「学位授与の方針」、「実務経験を活かした授業科目(有・無)※有とした場合は「授業の概要」に追記指示」、「授業の形式」、「使用教科書」、「参考書」、「履修上の注意」の作成項目を設けている。また、具体的な作成要領「シラバスの作成にあたり」を示し、授業担当教員に周知している。

シラバスの作成スケジュールは、1月上旬各教員に入稿を依頼し、2月中旬までに完了し、内容が学部・学科の方針(CP・DP)に合致したものになっているか学部長・学科長及び各学科教務委員の複数でのチェック体制を整えている。

シラバスの公表の時期は、新年度の4月1日である。なお、公表の方法は、本学ホームページで行うこととしている。

授業計画書の公表方法 大学ホームページ：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学生便覧「授業科目履修細則」に記載して学内外に周知している。

第7条 各授業科目の成績の評価は、試験の成績及び出席状況等を総合して行うものとする。

2 成績は、100点満点とし、成績評価は次の基準により授業担当教員が行うものとする。

秀；100点～90点、優；89点～80点、良；79点～70点、可；69点～60点、不可；59点～0点。

3 2人以上の教員により担当する授業科目については、当該授業科目を分担する教員の協議により成績の評価を行うものとする。

第8条 前条第2項の規定に基づく成績評価においては、秀、優、良、及び可を合格とし、当該評価を得た者については、学部教授会の議を経て所定の単位を与えるものとする。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学生便覧「授業科目履修細則」に記載して学内外に周知している。

第8条 前条第2項の規定に基づく成績評価においては、秀、優、良、及び可を合格とし、当該評価を得た者については学部教授会の議を経て所定の単位を与えるものとする。

- 2 学業成績を総合的に判断する指標としてGPA (Grade Point Average) を用いる。
- 3 GPAは、前条第1項の成績評価を基にグレードポイントを定め、それに各授業科目の単位数を乗じ、その合計を履修登録の総単位数で除して前期末及び後期末に算出する。
- 4 GPAの算出基準等は次のとおりとする。

成績評価	Grade Point
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可	0
放棄	0

- 5 GPAの計算については、卒業に必要な単位として加算されない科目及び学則第17条の3により単位を認定された科目は含まない。
- 6 第3項に定めるGPAが2期連続して別に定める値を下まわる学生には、クラス担任が修学指導を行う。
- 7 第3項に定めるGPAが3期連続して別に定める値を下まわる学生には、保証人同伴のうえ、学部長又は学科長が厳重注意を行う。
- 8 第3項に定めるGPAが4期連続して別に定める値を下まわる学生には、学長は学部長又は学科長と協議のうえ、成業の可能性があると判断される場合を除き、退学を勧告する。

【GPAの計算式】

$$4 \text{ 点} \times (\text{「秀」の修得単位数}) + 3 \text{ 点} \times (\text{「優」の修得単位数}) + 2 \text{ 点} \times (\text{「良」の修得単位数}) + 1 \text{ 点} \times (\text{「可」の修得単位数})$$

$$\text{GPA(小数点第3位を四捨五入)} = \frac{\text{4 点} \times (\text{「秀」の修得単位数}) + 3 \text{ 点} \times (\text{「優」の修得単位数}) + 2 \text{ 点} \times (\text{「良」の修得単位数}) + 1 \text{ 点} \times (\text{「可」の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	学生便覧(冊子)は新入生に配付している。 大学ホームページ(情報公開： https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/)でも公表している。
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施すること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学部学科が、建学の精神及び教育理念に基づきディプロマ・ポリシー（D P）を定め、そのD Pを達成するためカリキュラム・ポリシー（C P）を策定し、大学ホームページで広く公表するとともに、大学案内（パンフレット）で受験生に、学生便覧で在学生に示している。新入生には、新入生オリエンテーション及び導入科目である平大入門ゼミ（初年次教育科目）で周知を図り、4年間の履修計画や学修においてD Pを意識させるよう努めている。

卒業要件は、各学部学科で明確に定めており、学生便覧に明記している。また、D Pに基づき、シラバスでは各授業科目に到達目標を設定しており、担当教員の責任のもと厳格な成績評価を行っている。

卒業認定では、学生一人一人の修得した科目状況を一覧で示し、卒業認定のための単位が修得されているか、D Pの方針と照らし合わせ、その達成度を各学部長・学科長及び教務委員等が確認を行い、各学部教授会の議を経て、教務委員会（卒業判定連絡会議）を通じ、全学教授会で報告され、学長が卒業を認定している。

<卒業の要件及び卒業判定の手順について>

- ・卒業認定の各学部学科の卒業要件単位数は、以下のとおりである。
- ・修業年限（4年）以上在学し、所定の授業科目の単位を修得した者は、各学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定している。

卒業に必要な最低修得単位数

学部・学科名	初年次 教育科 目	一般教育科目			専門教 育科目	卒業に必要 な最低修得 単位数
		教養基 礎科目	情報処 理科目	外国語 科目		
経営学部 経営学科	2	1 8	2	6	9 6	1 2 4
福祉健康学部 福祉学科	2	1 8	2	6	9 6	1 2 4
福祉健康学部 こども学科	2	1 8	2	6	9 6	1 2 4
福祉健康学部 健康スポーツ科学科	2	1 8	2	6	9 6	1 2 4
看護学部 看護学科	2	1 5	2	6	1 0 9	1 3 4

卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧(冊子)は、新入生に配付している。 大学ホームページ（情報公開： https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/ ）でも公表している。
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/
収支計算書又は損益計算書	https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/
財産目録	https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/
事業報告書	https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/
監事による監査報告（書）	https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：学校法人福山大学事業計画　　対象年度：令和3年度）
公表方法： https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/
中長期計画（名称：　　対象年度：　　）
公表方法：

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/>

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/jihee/>

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営学部
教育研究上の目的（公表方法： https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/ ）
(概要) 経営学科は、建学の精神及び本学学則に定めるところに基づき、社会性を身につけた豊かで調和のある人間性を養い、経営学諸分野の高度な専門的知識と技術を習得し、産業経済界で活躍できる実践的な人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/ 、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）
(概要) 経営学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与する。 1. 豊かな人間性を支える多様な教養教育科目と専門教育科目を修得している。 2. ビジネスパーソンや産業人として働くうえで必要な経営関係分野の専門知識を身につけている。 3. 現代社会はＩＣＴ（情報通信技術）がきわめて大きな影響を及ぼすようになっていることを理解し、企業経営や地域活動に役立つ実践的な経営情報関係知識と技術を修得している。 4. 現代経済はグローバル化が進展し、変化が激しく、不確実性が増している。そうした環境変化に対応し、問題を発見し解決する能力や他者と協力して課題解決に取り組む協調性やコミュニケーション能力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/ 、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）
(概要) 経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考え方の異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成することを目的とする科目を配置している。 ○教育課程の編成 経営学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成している。 1. 社会人として必要な豊かな人間性と社会性を育むため、1年次では多様な教養教育科目を学ぶ。さらに、2年次、3年次の専門教育科目にも上記関係科目を組み込み、継続した教育から実践力を身につける。 2. ビジネスパーソンや産業人として活躍するために必要な専門教育科目は多岐にわたる。そうした専門教育科目を、科目間および基礎的科目と応用科目の関連性から専門領域別に整理して、自らの興味と関心に応じて学修を深める。 3. 現代のビジネスパーソンや産業人は、問題を発見し解決する能力やプレゼンテーションおよびコミュニケーション能力が求められる。そこで、そのために役立つ実習科目や演習科目、フィールドワーク、卒業論文等もカリキュラムの重要な柱と位置づけて学修する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/ 、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考えの異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成する。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れる。

1. 高等学校における学習内容を理解し、また、スポーツ・文化などの部活動や生徒会活動、地域のボランティア、あるいは資格の取得などに主体的、積極的に取り組み、大学入学後も目的を持って主体的に学生生活を送ろうという意欲を持っている人。
2. 現代の企業の経営や地域の現状について関心があり、そういう問題をより深く理解するために、自ら進んで勉強し、継続した努力のできる人。
3. 将来、ビジネスパーソンや産業人、あるいは地域で活躍しようとして、経営関係分野の専門知識や技術の習得をめざしている人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/>

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受け入れに関する方針の概要

学部等名 福祉健康学部

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/>）

(概要)

【福祉学科】

福祉学科は、ウェルビーイングの理念に基づき、社会福祉、介護福祉に関する専門的知識と技術を習得し、児童、高齢者、障害者等、すべての人々の福祉の向上に寄与しうる豊かな人間性と総合的実践力を備えた人材を育成することを目的とする。

【こども学科】

こども学科は、子どもたちの生きる力につながる保育・教育に関する専門的知識と技術を習得し、子どもを取り巻く課題に主体的に取り組むことのできる論理的思考力と創造的実践力を備えた人間性豊かな人材を育成することを目的とする。

【健康スポーツ科学科】

健康スポーツ科学科は、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解するとともに、健康、スポーツ、教育に関する専門的知識と技術を習得し、全ての人々の健康増進及びスポーツ振興の担い手として寄与しうる豊かな人間性と総合的実践力を備えた人材を育成することを目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：【福祉】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/wfs/policy/>、
【こども】 <https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/child/policy/>、【健康スポーツ科】
<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/kss/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

【福祉学科】

福祉学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（福祉学）の学位を授与する。

1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。（知識・理解）

2. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。（思考・判断）
3. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助觀を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。（価値）
4. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー）としての専門的技能を身につけることができる。（技能）
5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。（態度）

【こども学科】

こども学科では、保育者・教育者としての以下の資質・能力を備え、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（こども学）の学位を授与する。

1. 多様な他者と協働し、子どもと共に自ら学び育とうとする素養と知識を身につけていく。
2. 子どもの発達と学習を促進する支援と指導のための内容・方法・技術を身につけていく。
3. 子どもを取り巻く諸課題の解決に向け、より良い地域・社会の創出に取り組もうとする態度と構えを身につけていく。

【健康スポーツ科学科】

健康スポーツ科学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（健康スポーツ科学）の学位を授与する。

1. 幅広い基礎的・専門的な知識を身につけ、それを理解している。
2. 健康スポーツ領域における知識を活用し、分析・考察できる力を身につけていく。
3. 社会のなかで、健康で文化的な生活に貢献できる幅広い人間性を身につけていく。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：【福祉】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/wfs/policy/>、【こども】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/child/policy/>、【健康スポーツ科】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/kss/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

（概要）

【福祉学科】

福祉学科では、社会福祉の根底にある理念や哲学（価値、態度）、社会福祉の政策・制度論（知識）、および援助方法（技能）に関する科目と、人間力（知力、実践力、気力、体力、コミュニケーション力）を高め、社会で活躍しうる職業人を育成することを目的とする科目を配置している。

また、実習・演習科目を重視し、1年次生から4年次生まで系統的に実習できるように科目を配置し、多様な社会福祉実践現場で実習することにより、必要な知識、態度、技能を身につける。

○教育課程の編成

福祉学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成している。

1. 福祉に関する十分な知識をもとに自らの進路選択ができるよう、福祉入門科目群を置く。
2. 社会福祉士国家試験受験資格を取得できるよう、ソーシャルワーク専門科目群を置く。
3. 介護福祉士国家試験受験資格を取得できるよう、ケアワーク専門科目群を置く。
4. 福祉に関する理解をより深めるために、応用専門科目群を置く。
5. 高度な専門性を身に付け、実践力を高めるために、高度専門科目群を置く。
6. 少人数教育を重視し、基礎から研究までの連続性を確保するために、ゼミナール科目群を置く。

【こども学科】

こども学科では、ディプロマ・ポリシーで設定されている資質・能力を備えた保育者・教育者を育成することを目的として、以下の4領域にわたって科目を配置している。

- A. こども学基盤科目（基盤科目）
- B. 保育・教育の理論に関する科目（理論科目）
- C. 保育・教育の内容・方法・技術に関する科目（内容・方法・技術科目）

D. 保育・教育の実践に関する科目（実践科目）

各自の志望するキャリアに応じて所定の科目を履修し単位を修得することによって、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得することができる。

○教育課程の編成

こども学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成している。

1. キャリアを模索する（1年次）

将来のキャリアを模索することができるように、一般教育科目および基盤科目を中心編成し、地域・社会における保育・教育現場を体験する機会を提供する。

2. キャリアを選択する（2年次）

興味・関心・将来構想に基づいてキャリアを選択し、実践のための知識と技能を獲得することができるように、理論科目および内容・方法・技術科目を中心に編成し、保育・教育現場の体験を積み重ねる機会を提供する。

3. キャリアを実感する（3年次）

志望するキャリアを実感し、将来構想を具体化することができるように、内容・方法・技術科目および実践科目を中心に編成し、保育実習・教育実習の機会を提供する。

4. キャリアを実現する（4年次）

キャリアを実現することができるように、4年間の学修を振り返り、保育者・教育者として最小限必要とされる資質・能力を身につけることができたかどうかを確認するための科目を中心に編成し、さらなる学修に励む機会を提供する。

【健康スポーツ科学科】

健康スポーツ科学科では、「健康」、「スポーツ」、「教職」という3つの基幹科目の系統性を持ち、課題解決能力を持ったインテグリティの高い人材を育成することを目的とする科目を配置している。

○教育課程の編成

健康スポーツ科学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成する。

1. (1年次) 実践からのスポーツ再発見（ギャップの確認）。

2. (2年次) 実践と理論のスパイラル省察（問題や課題を自覚しながら工夫・努力する演習群の配置）。

3. (3年次) 問題・課題解決への専門的アプローチ（ゼミ色を活かした課題解決への取り組み）。

4. (4年次) 問題・課題解決に向けた取り組み（卒業論文作成過程を軸にした解決策の提案）。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：【福祉】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/wfs/policy/>、【こども】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/child/policy/>、【健康スポーツ科】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/kss/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

【福祉学科】

福祉学科では、「共感と共生」を基本にしたウェルビーイングの理念を柱に、互いの違いを理解し共感する心をもち、自立の支援・共生を可能にする専門知識と実践力を備えた福祉専門職を育成する。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れる。

1. 社会福祉及び関連分野に関心をもち、将来それらの分野において活躍するために専門知識や技術を学ぶ意欲のある人。

2. 自分と他者の関係を大切にし、コミュニケーション能力を高めるための自己学修に意欲のある人。

3. さまざまなボランティア活動や社会貢献活動に積極的・主体的に参加し、実践力を高めるための行動ができる人。

4. 自分や他者の人権について高い意識をもち、人の幸せを進んで支援することに生き甲斐を感じることのできる人。

【こども学科】

こども学科では、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の養成を主な目的とし、子どもを大切に育て、子どもの可能性を引き出し、子どもを取り巻く社会状況の変化に対応することができる人材を育成する。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れる。

1. 保育者・教育者としての素養を身につけようとして、自ら知識を得ようとする人。
2. 発達と学習を促進する支援と指導の力をつけようとする人。
3. より良い地域・社会の創出に取り組もうとする人。

【健康スポーツ科学科】

健康スポーツ科学科では、現代社会における健康意識の向上とスポーツ実践の役割を認識し、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解することにより、調和のある人間形成を図る。更に「健康」・「スポーツ」・「教職」の3つを柱に、社会に貢献できる有能な職能人・教員・指導者や研究者等の人材を育成する。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れる。

1. スポーツや健康科学に強い興味と関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲が旺盛な人。
2. 健康・スポーツ文化を発信するための能力や感性を身につけたいと考えている人。
3. 目的を段階的に捉え、成果に向けて努力・達成しようとする人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/>

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/>）

（概要）

看護学科は、建学の精神及び学則に定めるところに基づき、生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を持ち、保健、医療及び看護に関する高度な専門的知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及び社会福祉に貢献することができる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ns/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

（概要）

看護学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与する。

1. 人間の尊厳を大切にし、倫理観に基づき、自覚と責任ある行動をとる能力を身につけている。
2. 看護の対象となる個人、家族、集団、地域社会の人がもっている健康問題・課題に取り組む能力を身につけている。
3. 保健・医療・福祉・教育の関係者、ケアにかかわる多職種と協働できる能力を身につけている。
4. 看護実践に必要な基本的知識・技術をもち、多様な場面において看護を実践することができる能力を身につけている。
5. 主体的に行動し、地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ns/policy/>）

[u.ac.jp/faculty/ns/policy/](https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ns/policy/), 大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える)

(概要)

看護学科では、高い倫理観に裏づけされた感性を持ち、人間と環境を愛し、看護学の発展、国民の健康増進及び社会福祉に貢献しうる人材を育成することを目的とする科目を配置している。

○教育課程の編成

看護学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成している。

1. 看護を実践するための基本となる能力、看護ケアの展開能力を修得する科目を設置する。
2. 看護実践能力を修得するための科目を配置する。
3. 保健師教育、教職課程は選択制とする。
4. 主体的な学び、継続的に看護を探求することができる能力を修得できる科目を設置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ns/policy/>, 大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

看護学科では、「全人教育」「人間と自然を尊ぶ教育」「心情と愛の教育」「知行合一の教育」の本学の教育理念を基に、将来の看護実践者・指導者・教育者としての人材を育成する。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れる。

1. 他者の尊厳と権利を重んじ、人間を尊重することのできる人
2. 看護専門職として夢と関心をもち、看護の学修に積極的に取り組む姿勢をもっている人
3. 相手のことばに耳を傾け、自分の考えを適切に表現し、あたたかい心でコミュニケーションがとれる人
4. 社会の一員として自覚と倫理観をもち、看護専門職として人の役に立ちたいと思っている人
5. 多様な価値観や異なる文化を理解しようとする姿勢をもっている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	2人	—	—	—	—	—	2人
経営学部	—	8人	2人	3人	1人	0人	14人
福祉健康学部	—	23人	10人	9人	1人	0人	43人
看護学部	—	7人	6人	8人	2人	3人	26人
大学教育センター	—	0人	0人	0人	1人	1人	2人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	85人	85人

各教員の有する学位及び業績
(教員データベース等) 公表方法：<http://kws.v.heisei-u.ac.jp/stfdb/proflist.php>

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

福山平成大学では、FD推進委員会が中心となって、FD (Faculty Development) 活動の取り組みに関する情報の共有化を図るため、毎年「福山平成大学 FD ニュースレター」を発行している。FDは、「授業内容や方法を改善し、向上させるための組織的な取組み」を意味する。本学では、全科目対象の学生による授業アンケート調査（前期及び後期の年2回）の他、FD研修会では例年、外部講師を招いて実施しているが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、学内講師による研修会を実施した。

また、その他にも、FD講習会（統計講座）、「私の授業」発表会、FD関連図書コーナーの充実など、さまざまな活動を通じて、大学の教育力を高めて行くよう取り組んでいる。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営学部	50 人	50 人	100.0%	200 人	175 人	87.5%	-人	0 人
福祉健康学部	210 人	159 人	75.7%	840 人	644 人	76.7%	-人	0 人
看護学部	80 人	84 人	105.0%	320 人	324 人	101.3%	-人	0 人
合計	340 人	293 人	86.2%	1360 人	1143 人	84.0%	-人	0 人

(備考)

編入学定員は設けていない。募集要項に記載の募集人数は若干名としている。

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数		就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営学部	37 人 (100%)	0 人 (0.0%)		35 人 (94.6%)	2 人 (5.4%)
福祉健康学部	169 人 (100%)	3 人 (1.8%)		157 人 (92.9%)	9 人 (5.3%)
看護学部	78 人 (100%)	9 人 (11.5%)		65 人 (83.3%)	4 人 (5.1%)
合計	284 人 (100%)	12 人 (4.2%)		257 人 (90.5%)	15 人 (5.3%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

--- 〈令和2年度実績〉 ---

福山市立小学校、府中市立小学校、庄原市立小学校、長崎県立高等学校、香美市立中学校(高知県)、(学法)東林館高等学校、(学法)広島なぎさ中学校・高等学校、(学法)銀河学院ざんがの郷小学校、福山市役所、庄原市役所、日田市役所、美咲町役場、自衛隊、岡山県警察、島根県警察、広島県警察、福山地区消防組合消防局、

独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院、岡山大学病院、

尾道市立市民病院、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院、神戸市民病院機構、

独立行政法人国立病院機構福山医療センター、公立学校共済組合中国中央病院、

東京歯科大学市川総合病院、医療法人社団日本鋼管福山病院、

(株)トマト銀行、しまなみ信用金庫、玉島信用金庫、福山市農業協同組合、晴れの国岡山農業協同組合、青山商事(株)、ALSOK 福岡(株)、(株)エディオン、(株)キャステム、(株)コスモス薬品、JFE スチール(株)、

ダンロップタイヤ中国(株)、東レ(株)、(株)西日本メタル、(株)ビッグモーター、福山通運(株)、(株)フレスタ、

(株)ホテルグランヴィア広島、(株)三城(メガネの三城)、(社福)出雲市社会福祉協議会、

(社福)尾道市社会福祉協議会 他

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
経営学部	39人 (100%)	34人 (87.2%)	2人 (5.1%)	3人 (7.7%)	0人 (0%)
福祉健康学部	175人 (100%)	165人 (94.3%)	3人 (1.7%)	8人 (4.6%)	0人 (0%)
看護学部	89人 (100%)	72人 (80.9%)	3人 (3.4%)	13人 (14.6%)	0人 (0%)
合計	303人 (100%)	271人 (89.4%)	8人 (2.6%)	24人 (7.9%)	0人 (0%)

(備考)
看護学部から福祉健康学部へ1名の転学部生がいる。福祉健康学部の「留年者数欄に(1名)」を含んでいる。

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関するこ

(概要)

授業科目、授業の方法及び内容・・・大学で作成する授業計画（シラバス）に記載している。具体的には、次の項目から構成している。

「授業のねらい・概要」、「授業（学修）の到達目標・カリキュラム上の位置づけ」、「準備学修の具体的な指示」、「回数ごとの授業内容」、「回数ごとの準備学修等の具体的な指示」、「準備学修に要する時間の目安」、「定期試験」、「成績評価の方法・基準・課題・フィードバック」、「オフィスアワー」、「授業に関するキーワード」、「学位授与の方針」、「実務経験を活かした授業科目（有・無）※有とした場合は「授業の概要」に追記指示」、「授業の形式」、「使用教科書」、「参考書」、「履修上の注意」。

また、カリキュラムマップを作成しており、1年次生から4年次生まで体系的に年間の学修計画を立てられるようにしている（大学ホームページ「情報公開（教育情報）」、学生便覧に記載）。

年間の授業の計画・・・学年暦に示している。学年の授業は、35週を基準とし、次の二期に分け、前期は、4月1日から9月15日まで。後期は、9月16日から翌年3月31日までとしている。なお、基本的に前期、後期とも、授業は各15回行われ、その後に試験があり、合格（100点満点の60点以上）すると所定の単位が付与される。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関するこ

(概要)

（学修の成果に係る評価）

各授業科目の成績の評価は、試験の成績及び出席状況等を総合して行うものとする。

成績は、100点満点とし、成績評価は次の基準により授業担当教員が行うものとする。

成績評価	成績評価の内容	意味	単位認定	Grade Point	備考
秀	100点～90点	特に優れた成績	認定	4点	
優	89点～80点	優れた成績	認定	3点	
良	79点～70点	良好な成績	認定	2点	
可	69点～60点	良好には足していないが合格の成績	認定	1点	

不可	59点～0点	合格と認められない成績	不認定	0点	不正行為をした場合も含む。
放棄	受験資格はあったが、定期試験を受験しなかった場合、あるいは授業の出席回数が不足していて、受験資格がなかった場合。		不認定	0点	

2人以上の教員により担当する授業科目については、当該授業科目を分担する教員の協議により成績の評価を行うものとする。

成績評価においては、秀、優、良、及び可を合格とし、当該評価を得た者については学部教授会の議を経て所定の単位を与えるものとする。

(卒業又は修了の認定に当たっての基準)

【経営学部】

卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が124単位以上になるように修得しなければならない。

[内訳]

1) 一般教育科目

- ・初年次教育科目1科目2単位必修。
- ・教養基礎科目18単位以上選択必修、但し、体育科目については2教科以上履修することはできない。
- ・情報処理科目2科目2単位必修。
- ・外国語科目必修（英語A・英語B・英会話A・英会話B）4科目4単位、
選択必修（第2外国語（同一言語））2科目2単位、
小計6科目6単位、合計28単位。

2) 専門教育科目

- 1) のほか専門教育科目 必修科目を含めて、96単位以上。

【福祉健康学部】

卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が124単位以上になるように修得しなければならない。

[内訳]

1) 一般教育科目

- ・初年次教育科目1科目2単位必修。
- ・教養基礎科目18単位以上選択必修、但し、体育科目については2教科以上履修することはできない。
- ・情報処理科目2科目2単位必修。
- ・外国語科目必修（英語A・英語B・英会話A・英会話B）4科目4単位、
選択必修（第2外国語（同一言語））2科目2単位、
小計6科目6単位、合計28単位。

2) 専門教育科目

〈福祉学科〉

イ) 1) のほか、「ゼミナール」群で必修科目4科目10単位。

ロ) 1) のほか、選択必修科目の中から、「福祉入門科目」群で4科目6単位、「ソーシャルワーク専門科目」群で2科目4単位、「高度専門科目」群で2科目4単位、計8科目14単位選択必修。

ハ) イ)、ロ)のほか、選択科目から72単位以上。

〈こども学科〉

イ) 1)のほか、「こども学基盤科目」12科目24単位必修。

ロ) イ) のほか、選択科目72単位以上。

〈健康スポーツ科学科〉

- イ) 1) のほか、必修科目 8 科目 20 単位必修。
 ロ) イ) のほか、選択科目から 7 6 単位以上。

【看護学部】

卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が 134 単位以上になるように修得しなければならない。

[内訳]

1) 一般教育科目

- ・初年次教育科目 1 科目 2 単位必修。
- ・教養基礎科目 15 単位以上選択必修。ボランティア活動論 1 科目 1 単位選択必修。
 25 科目 50 単位の中から 14 単位選択。
- ・情報処理科目必修 (情報処理論 1 科目 2 単位)
- ・外国語科目必修 (英語 A・英語 B・英会話 A・英会話 B) 4 科目 4 単位、
 選択必修 (フランス語 A・フランス語 B) (中国語 A・中国語 B)
 (ドイツ語 A・ドイツ語 B) 2 科目 2 単位
 小計 6 科目 6 単位、合計 25 単位。

2) 専門教育科目

専門基礎科目 18 科目 32 単位、専門科目 49 科目 77 単位、合計 67 科目 109 単位必修。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上 限 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	124 単位	(有)・無	48 単位
福祉健康学部	福祉学科	124 単位	(有)・無	48 単位
	こども学科	124 単位	(有)・無	48 単位
	健康スポーツ科 学科	124 単位	(有)・無	48 単位
看護学部	看護学科	134 単位	(有)・無	48 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)			公表方法：学生便覧「授業科目履修細則」に掲載済み。 下記のとおり、G P A 値の基準を定めて、学生への修学指導に活用している。 1. 第3項に定めるG P Aが2期連続して別に定める値を下まわる学生には、クラス担任が修学指導を行う。 2. 第3項に定めるG P Aが3期連続して別に定める値を下まわる学生には、保護者同伴のうえ、学部長又は学科長が厳重注意を行う。 3. 第3項に定めるG P Aが4期連続して別に定める値を下まわる学生には、学長は学部長又は学科長と協議のうえ、成業の可能性があると判断される場合を除き、退学を勧告する。	
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)			公表方法：「保証人懇談会資料」として冊子に掲載している。冊子は、全学生の保証人へ送付及び図書館で閲覧できるようにしている。 全学的に行っていいるこの「学生生活に関するアンケート」調査は、毎年度実施しており、学生生活全般にわたる現状や学修に対する意識を知ることのできる統計資料となっている。学修状況調査の項目では、授業以外（予習・復習）	

	の必要な時間をシラバスに記載し、その実態の把握や予習・復習の指示に対するシラバスの活用状況等、学習意欲全般を定量的に示し、本学の教育改革に役立てている。 また、卒業年次生を対象とした「卒業時アンケート」も行っており、本学における学修の成果に対して、学修到達度や満足度を調査し、今後の本学の教育活動の改善に役立てることにしている。
--	---

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関するこ

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/campuslife/cmap/>

⑧授業料、入学会員料その他の大学等が徴収する費用に関するこ

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学会員料	その他	備考 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	800,000 円	330,000 円	0 円	
福祉健康 学部	福祉学科	860,000 円	330,000 円	0 円	
	こども学科	860,000 円	330,000 円	0 円	
	健康スポーツ科学科	860,000 円	330,000 円	0 円	
看護学部	看護学科	1,400,000 円	330,000 円	0 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関するこ

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

本学における修学支援は、主に各学科におけるクラス担任と学務部教務課、学生課が協働して実施している。学生の修学に係る支援には、履修に関する指導・相談の他、学生生活に関すること、奨学金に関すること等、多岐にわたっている。

以下に本学における具体的な修学に係る支援に関する取り組みを示す。

1. 本学においては、クラス担任制（指導教員）を導入し、学生の学修、学生生活、研究活動、進路、心身などの全般についての相談、指導を行っている。
2. 入学当初には学外で1泊2日の合宿オリエンテーションを実施し、各学科の概要と授業科目の説明等の履修指導を行い、併せて学修に対する姿勢を指導している（※昨年度は新型コロナウイルスの感染症の影響により、学内でオリエンテーションを実施）。
3. 2年次以降は、年度始めにはオリエンテーションを実施し、次年度以降の履修登録及び履修登録の指導を行っている。学年が進行し、教育・研究の内容が深まるため、クラス担任と各学科に配置している教務委員が学生に対し、授業の不明な点や学修の進捗状況に関する指導を行っている。
また、履修登録に当たっては、進級・卒業に必要な単位の履修及び資格取得に必要な単位等について十分説明し、学生が授業科目を無理なく計画的に履修できるよう、教務課も履修指導に参画する指導体制としている。
4. G P A制度を導入し、厳格な単位認定に努めているとともに、成績が不良の学生に対しては、クラス担任のみならず学科長等が個別面談等を行い、学修習慣及び生活習慣等について指導を行い、留年及び退学を予防すると共に、必要に応じて進路の勧告等を行う。
5. 入学前教育として、入学予定者に対し課題を与えていた。また、英語・英会話では、入

- 学時のオリエンテーションにおいて習熟度を確認し、習熟度別クラス編成を行い、個々の学力にあった授業が行えるよう支援をしている。
6. シラバスには、オフィスアワーを明記し、学生が担当教員に質問等を容易に行えるよう、また、予習復習に関する事項も明記しており、学生が授業計画に従ってどのような予習・復習を行えば良いかを簡潔に示し、授業外学修が効果的に行えるよう支援している。
 7. 学生用掲示板に加え、学生専用のポータルサイトを用いた情報の提供を行い、自宅や学外において必要な情報を検索・確認できる体制を整備している。
 8. 本学独自の奨学金制度「一般奨学生、特別奨学生A、特別奨学生B」を設けており、学生の学費負担の軽減に努めており、手厚い支援を実施している。

その他に独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度及び地方公共団体や民間団体の奨学金制度がある。さらには、経済的支援として、授業料の分納や延納の制度、アルバイトの紹介なども行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

本学は開学以来「社会に貢献できる有為な人材」の教育・育成に力を注ぐとともに、学生の就職対策及び指導に全教職員が一丸となって取り組んでいる。

就職指導体制は、①クラス担任教員と②学科単位で選出された就職委員で構成された就職委員会に加え、③就職に係る情報の提供、相談・助言、委員会の運営を行ってきた就職課を含む全職員による、それぞれの立場から三位一体となった支援を行っている。加えて、キャリアカウンセラー1名とハローワークのジョブサポート1名(別途就職課員を含む)による個別指導の協力を得て、万全な体制で臨んでいる。

就職委員会では、主に3年生を対象として年間30回程度「就職講座」を開催している。

この中では、自己分析、インターンシップへの準備、業界・企業研究、社会に出て働くという意味や動機付けを始め、職業適性検査、模擬面接、マナー講座、履歴書の書き方講座等を行っている。また、委員会では、大学主催の合同企業説明会や就職活動解禁日の出陣式等の開催も行っている。

併せて、「WEB就職支援」構築によるICT化を通じて、学生個々の進路希望に基づき、進路が決定されるまで、しっかりときめ細やかな就職支援が行えるようにサポートをしている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

快適な学生生活を送ることができるよう、保健管理センター及び学生相談室を設置している。

○保健管理センター

- ①学生の定期健康診断の実施
- ②健康相談及び保健指導
- ③学生の緊急の傷害・疾病に対する応急措置と医療機関への搬送

○学生相談室

本学学生についての相談を担当する心理カウンセラーが、学生本人からだけでなく、保証人や家族からの様々な相談にあたっている。

相談内容は、大学生活や家庭での心配事や悩みから、心の健康や心理的成長の援助まで、幅広く相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/kyouiku/>